

Harmony

vol.191
2021 秋号

特集

質の高い透析治療を



自分らしい生活を送るための透析

当院は県内で最初に人工透析を始めたしげい病院と同一法人(医療法人創和会)の病院です。慢性腎臓病は新たな国民病とも言われ、透析治療を受ける患者さんは国内で34万人を超え、岡山県でも約5,000人の透析患者さんがおられます。その約5,000人のうち約15%の方が創和会の2つの病院で治療を受けています。

当院では腎機能や患者さんのライフスタイルに応じた、さまざまな血液透析・腹膜透析を提供しており、小児から成人までの腎臓病を幅広く診察をしています。また、心肺機能の強化をはかり、筋力を増強することで、合併症の症状が改善するように、腎臓リハビリテーションも行なっています。

現在は、COVID-19に対応した病床を確保して新型コロナウイルスに感染した透析患者さんの治療も行なっております。

2020年当院の腎臓内科では、外来患者677名、入院患者197名、外来血液透析患者389名、腹膜透析10名の診療を行いました。また、外科では透析シャント拡張術(PTA)1,071例、膜透析関連手術・バスキュラーアクセス手術247例を行っています。

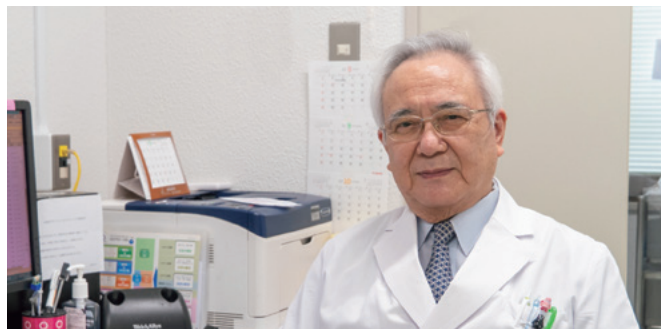
この数多くの患者さんの治療を支えているのが、透析に関わる内科医(8名 右ページ)、消化器内科医(4名)、外科医(2名 5ページ)です。診療科の垣根を越えて院内全体で慢性腎臓病の患者さんの治療にあたっています。また、血液浄化療法センターの看護師と臨床工学技士、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ、事務職員等、院内の各職種のスタッフが、患者さんの自分らしい生活を支えられるように治療を行っています。



血液浄化療法センター長
院長

真鍋 康二

日本内科学会認定 総合内科専門医・指導医
日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医・指導医
日本腎臓学会認定 腎臓専門医・指導医
日本透析医学会認定 透析専門医・指導医
日本消化器病学会認定 消化器病
専門医・指導医
日本老年病学会認定 老年病専門医・指導医



名誉院長
瀧 正史

日本小児科学会認定 小児科専門医・指導医
日本腎臓学会認定 腎臓専門医・指導医
日本透析医学会認定 透析専門医・指導医



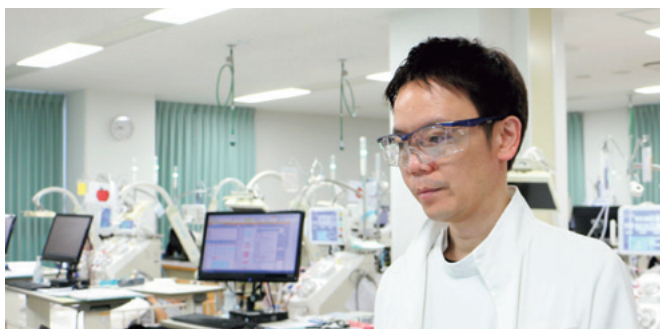
名誉院長
福島 正樹

日本内科学会認定 認定内科医・指導医
日本腎臓学会認定 腎臓専門医・指導医
日本透析医学会認定 透析専門医・指導医



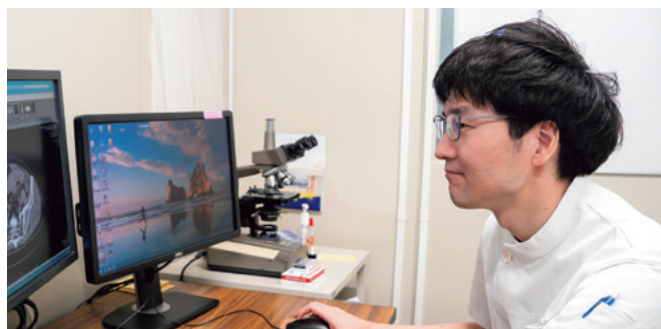
内科部長
荒木 俊江

日本内科学会認定 総合内科専門医・指導医
日本透析医学会認定 透析専門医・指導医
日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医・指導医
日本消化器病学会認定 消化器専門医
日本東洋医学会認定 漢方専門医



内科部長
大森 一慶

日本内科学会認定 総合内科専門医・指導医
日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医



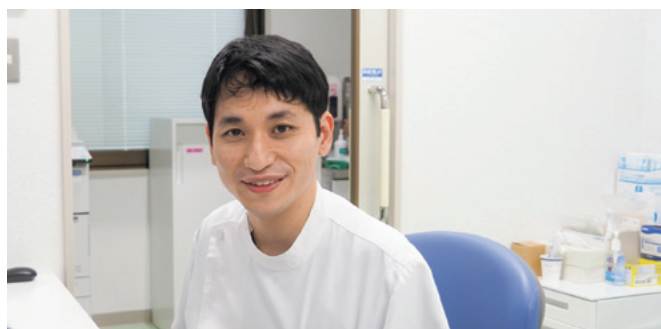
内科医長
十川 圭司

日本内科学会認定 認定内科医



内科医長
多田 蘇音

日本内科学会認定 認定内科医



内科医長
渡邊 真也

日本内科学会認定 認定内科医



看護部
血液浄化療法センター 課長

産賀 知子

看護師37名・臨床工学技士42名で患者さんと

当院では、患者さんの透析治療の確認、また合併症予防のために毎週の採血検査、定期的な胸部レントゲン・心電図、年に1度の腹部超音波(エコー)検査、腹部CT検査(腎臓がんのチェック)、上部内視鏡検査等を行い、患者さんの体のことを考え、ライフスタイルに合わせた透析、リハビリを提案しています。

働き盛りの方には「夜間透析」・「オーバーナイト透析」、自宅で行える「在宅透析」、また、腎機能に合わせた「腹膜透析」、腹膜透析と血液透析の「ハイブリット透析」と様々な選択肢をご用意しています。療法選択について、透析導入前後で医師や慢性腎臓病療養指導看護師1名、腎臓病療養指導士2名と一緒に考えられる体制を整えています。また、透析を始めた患者さんは「透析は、不自由で

辛い」「透析があるから、やりたいことができない」などたくさんの愁訴をかかえておられます。そんな愁訴に対応できるよう受け持ち制を導入しており、患者さん(Patient)の訴えに基づく(Oriented)透析(Dialysis)「愛POD」に取り組んでいます。

そして、愁訴の中でも、^{せんし}穿刺は苦痛と恐怖だといった声がよく聞かれます。近年、透析導入年齢の高齢化や長期透析患者の増加に伴い、バスキュラーアクセス(VA)の穿刺困難症例も増加しています。そのため、少しでも穿刺に対する不安軽減と最適な場所へ穿刺するために、看護師、臨床工学技士が協力し、エコーガイド下穿刺を当院では行っています。

臨床工学部
副技士長

畑 綾子



ご家族の暮らしに寄り添うサポートを

患者さんの高齢化による通院の不安や、在宅生活の不安にも「家族面談」を行い、ご家族・患者さんが安心して生活できるよう看護師全員で関わっています。

また、透析を行うにあたって必要となる透析関連機器全般の操作や保守・点検・管理、日々の透析用水・透析液の水質確認、透析液の作成および調整といった透析液の安全管理は臨床工学技士が担っています。透析用患者監視装置全128台の定期メンテナンス、トラブル発生時の迅速な修理対応など行うことで、安心・安全な透析治療を提供しています。

認定資格取得者一覧

慢性腎臓病療養指導看護師	1名
腎臓病療養指導士	2名
透析技術認定士	29名
認定血液浄化関連臨床工学技士	3名
透析技能2級検定	1名
3学会合同呼吸療法認定士	7名
CPAP療法士	3名
臨床ME専門認定士	1名
認定医療機器管理関連臨床工学技士	1名
認定臨床実習指導者	1名



ダイアライシスアクセスセンター長
外科部長

櫻間 教文



患者さんのためのバスキュラー・アクセス管理

外科はダイアライシスアクセスセンターにて、バスキュラーアクセスの新規造設や修復、再増設、腹膜アクセスの造設、修復を行っています。患者さんのQOLを考え、歯科、内科と連携し、術前、術後の管理を一貫して行っています。ここ数年でバスキュラーアクセストラブルに関する紹介患者数は急激に増加しており、バスキュラーアクセストラブル解決のニーズは高まっています。最も多いのは内シャント^{きょうさく}狭窄で、2020年には1,071例のPTAを施行しました。また、内シャント関連手術も227例実施しています。

特に術後に手が痛くなったり、潰瘍壊死に陥ったりするスティール症候群が極力生じないような手術デザインにしています。3年累積開存率は

AVF、AVGいずれも90%を超えており、国内ではトップレベルを維持しています。またアクセス肢の痛みに対する治療（神経ブロックや内服治療）も行っており、アクセスの管理に力を入れています。

この他に腹膜透析についても腹膜アクセスの造設、修復を行っており、カテーテル位置異常を起こしにくいデザインで行っています。出口部感染が生じた場合でも早期にエコーで感染範囲を診断し、出口部変更術を行って腹膜透析の継続ができるようにしています。

自院だけでなく、中四国の透析施設とも連携しながら安定した透析治療を受けられるように支援しています。

血管造影室改装、 手術室改装について

導入から12年経過した血管造影装置の更新に伴う血管造影室の移転・拡張工事を現在進めており、加えて来年1月からは築40年以上が経過し老朽化している手術室を刷新する改装工事に取り掛かる予定です。

新たな血管造影装置は現在の装置に比べ放射線被ばくを70%低減し、少量の造影剤で鮮明な映像を得られるようになるほか、従来より広くなる血管造影室は準清潔区域としてのクリーン度を実現するとともに処置後の観察を一定時間行うスペースも設けるなどし、これまで以上に安心・安全な医療を提供できる環境となります。新しい血管造影室と手術室は、ともに来年2022年の7月頃に稼働する予定です。なお、この2つの工事の方法やスケジュールを工夫することによって、約10ヶ月の工事期間中も現在行っている治療の質を落とさずに継続していただけるように計画しています。



導入後のイメージ図

透析・入院患者さんの 口座振替を開始しました



2021年6月より、透析患者さん、入院患者さんを対象に診療費の支払い方法として口座振替を開始しました。9月現在、血液浄化療法センター107名、入院病棟18名の患者さんにご利用いただいています。

毎月、会計窓口に行かなくても良くなる患者さんご自身はもちろんのこと、入院患者さんの県外に住まれているご家族の方などからもご好評を得ています。

ご希望の方は、
・総合受付・病棟クラーク
・血液浄化療法センター受付へ
お気軽にお声掛け下さい！



外来診察予定表

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	糖尿病・肝臓 (生活習慣病)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 大森 一慶 (総・糖)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖) 渡邊 真也 (総)	休 診	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 多田 蘇音 (総・糖) 十川 圭司 (総・糖)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 荒木 俊江 (総・糖)
		腎臓	福島 正樹 (腎) (紹介・初診のみ)	—	福島 正樹 (腎)		福島 正樹 (腎)	福島 正樹 (腎)
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)	岡 優子 (総・消)		岡 優子 (総・消) 山本 直樹 (総・消)	
	循環器	—	近藤 直樹 (循)	—	—		—	
	★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 循:循環器 ★健診は、西山仁樹(月・火・水・金・土)が担当しています ★福島正樹への新規ご紹介につきましては、完全予約制となっております。							
午後	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	休 診	交代医師	交代医師	
	専門外来 (予約)	—	(糖尿病・腎臓病) 真鍋 康二 荒木 俊江	—		—	—	
名誉院長外来	午前	—	腎臓・内科一般 瀧 正史	—	休 診	—	—	
内視鏡検査	午前 (上部消化管)	岡 優子	山本 直樹	藤本さおり	休 診	西山 仁樹	岡山大学医師	
	午後 (下部消化管)	岡 優子	山本 直樹	山本 直樹		藤本さおり	—	
小児科	午前	虫明 亨祐 河野 美奈	虫明 亨祐 今村 昌司	河野 美奈 今村 昌司	休 診	虫明 亨祐 河野 美奈	瀧 正史 虫明 亨祐	
	午後	交代医師 予防接種	交代医師 予防接種	交代医師 予防接種		交代医師 予防接種	交代医師 予防接種	
小児療育	午前 完全予約制	今村 昌司	今村 / 川田	今村 / 川田	休 診	今村 昌司	今村 昌司	
	午後 完全予約制	今村 昌司	今村 / 川田	今村 / 河野 / 川田		今村 昌司	今村 昌司	
★小児療育は初診の方は完全予約制(火曜・水曜午前中のみ)です。予め電話での予約が必要です。								
外科	午前	平松 聡	平松 聡	平松 聡	休 診	平松 聡	平松 聡	
ダイアライ シスアクセス 専門外来	午前/午後	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	—	
★ダイアライシスアクセス専門外来は、完全予約制です。予め電話での予約が必要です。 ★時間外でも可能な限り対応いたします。電話でお問い合わせ下さい。								
泌尿器科 (予約)	午後	—	—	—	休 診	岡山大学医師 13:30~16:00	—	
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休 診	—	—	
眼科	午後	交代医師 第4月曜日13:30~16:00	—	—	休 診	—	—	

受付時間

午前 8:30~12:00

午後 13:30~16:30

(再診の方は、再来受付機にて8:00より受け付けています)

休診日 木曜・日曜・祝日

(急病の場合は、あらかじめお問い合わせをお願いいたします)

交通のご案内

- 岡山天満屋バスセンターから 12番乗り場
- 岡山駅東口バスターミナルから 5番乗り場
- 「重井附属病院」行き ▶ 約40分 終点下車

JR庭瀬駅から(約10分) ▶ 当院

140台 受診の方や面会の方は、無料で駐車できます。
なお、午前中の混雑時には係員の誘導に従ってください。
※盗難防止のため、貴重品の管理には十分ご注意ください。



重井医学研究所附属病院
〒701-0202 岡山県岡山市南区山田 2117



関連施設 ●しげい病院 ●倉敷しげい訪問看護ステーション ●倉敷しげい居宅介護支援事業所
●岡山しげい訪問看護ステーション ●岡山しげい居宅介護支援事業所

FAX 086-282-4447 入退院支援センター(直通)

TEL 086-282-5311

FAX 086-282-5345